

## 2 自然再生協議会全国会議の開催

### (1) 自然再生協議会について 【自然環境課】

自然再生協議会とは、生態系やその他の自然環境を取り戻すことを目的とする「自然再生推進法」に基づいて設立された法定協議会です。全国では23都道府県27団体（令和6年12月時点）あり、県内には三方五湖自然再生協議会（平成23年度設立）と北潟湖自然再生協議会（平成30年度設立）の2団体があります。県内のこれらの協議会では、地域住民、自然再生団体、農漁業者や学校、研究者、行政機関等の多様な主体が参加し、科学的知見に基づきながら、湖沼とその周辺地域を対象に、希少種保全や外来生物駆除、人と多様な生物とが持続的に共存できる自然環境の保全・再生、環境教育や農水産業の振興などに取り組んでいます。

### (2) 三方五湖地域での全国会議の開催 【自然環境課】

毎年、環境省が主催し、全国の自然再生協議会が集って先進的な取組みや情報を交換する全国会議が行われています。今回で19回目となる会議が、令和6年11月14日と15日の2日間にわたって三方五湖で開催されました。環境省、国土交通省、文部科学省、大学の研究者等で構成される国の自然再生専門家委員、そして全国18都府県からの自然再生協議会関係者など、2日間の日程で約100名が現地やオンラインで出席し、三方五湖周辺の自然再生実施場所等の現地視察と、全国の自然再生の取組みについての情報共有が行われました。

#### ◆三方五湖地域3箇所での現地視察（1日目）

はじめに久々子湖において、河川の洪水を防止するために浚渫された土砂を湖に入れ、シジミ等の多様な生物の生息環境となる浅場を再生する取組みを紹介しました。この取組みでは、生物多様性を創出することで、有用種の保全、水質浄化機能や防災・減災機能の向上、環境学習の場の提供など、様々な生態系サービスの向上を狙っていることが説明されました。また、レインボーライン山頂公園では5つの湖を一望しながら各湖の違いや地形的特徴の説明、三方湖畔では地元漁業者等から、実際の漁具を使ってたたき網漁をはじめとする400年以上の歴史をもつ伝統漁法について説明が行われました。



現地視察の様子

#### ◆敦賀市内での会議（2日目）

会議では、関係省庁による施策状況の報告、自然再生協議会の設立を目指す団体による地域の自然環境の状況紹介のほか、三方五湖自然再生協議会から、1日目に引き続き取組みの紹介等を行いました。三方五湖自然再生協議会の鷺谷会長の進行の下、協議会の6部会の活動の概要説明のほか、協議会活動に中心となって関わっておられる研究者、地域団体、地域の小学校の先生からも活動事例の紹介がなされました。

国の自然再生専門家委員からは、多様な方が関わり、つながりを作って活動を進めている点を評価いただき、三方五湖からの出席者にとっても今後の活動の励みになったものと思います。引き続き活動に取り組みながら、得られた知見や成果を、地域をはじめとした外部の方に分かりやすく情報発信していきます。



室内会議の様子